



俳句

越智哲真 選

老庭師帯で確保の松手入
 忽然と頭でつかち鶏頭花
 秋湿り社殿の床の薄畳
 車椅子しばし止めり吾亦紅
 長雨の頭深しき稲穂かな
 選り抜きの稲穂を供ふ神の前
 伊予路にも稲刈る音の聞こえたる
 家々に秋草かざりおもてなし

橋本克彦
 三谷福美
 波部喜生
 越智幸子
 高塚啓子
 森本郁子
 三好清信
 赤根美鈴

川柳

平尾忠文 選

古希近しがタゴト走るは当り前
 神様にすがって嬉しい結果
 煩惱へ夢幻の泣き笑い
 幼子の寝顔に心癒されて
 だんじりのちようちん悲し雨の音

高塚啓子
 神尾裕子
 越智幸子
 川又美佐子

あの人にこの人に会う敬老日
 前向きに挑戦するぞ敬老日
 古い二人言葉少なくて栗を剥く

加藤千賀子
 三谷福美
 加藤泰江
 三好清信

短歌

田坂幸 選

琴ピアノ習ひて姉は県立の高女に入りぬそは
 母の夢
 ベッドにて再び腰の骨折りぬ薄くなりたる母
 の骨密度
 それぞれに別々の道歩みきて老いて施設で同
 じ道ゆく
 娘の声をちよつと聞きたく立寄れば間引菜ゆ
 がきつましく暮す
 ともかくも術後一年生きており見馴れし山の
 エール聞きつつ
 「また来るね」母に声かけ手を振ればエレベ
 ーターまでいつも見送る
 秋空に咲く彼岸花赤一色九州地方は白の多し
 と
 だんじりがレインコートを身にまとい鉦・太
 鼓の音もさびしく巡る

山本昇
 余吾秀利
 藤田ウメノ
 菅正子
 越智幸子
 三谷福美
 真鍋生朝子
 加藤千賀子

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。
 ※掲載作品は選者により添削される場合があります。

応募先 〒793-8601
 明屋敷164 西条市役所
 シティプロモーション推進課 広報係
 TEL 0897-52-11204 (直通)



Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.123

マチにマッタ
 マツリのマチ

西条市に来たばかりのころ、「西条のカレンダーは10月から始まる」と聞きました。それは、西条祭りが終わると次のカレンダーが始まるということでした。

雨が降り続いていたのに、祭りが近づくにつれて街中に太鼓や笛の音が響いてきました。心弾む太鼓の音と懐かしく切ないような笛の音が一体となって不思議でした。

私が住む喜多町では、だんじりが披露を兼ねてお祭り前に町内を練り歩き始めました。近くの神社から宮司さんが現れ、だんじりの前に立って安全祈願の儀式を執り行いました。儀式が終わったのを見計らって、近くにいたおじさんが宮司さんに、なんと「ついでに私の腰痛も治してくださるか」と頼みました。周りの人々は大笑いで、宮司さんは困ったような笑顔でした。私はとても面白いなあと親近感を覚えました。

祭りの日は、職場の同僚に中の段のだんじりに招待

今回のフレンド

グエン・ブイ・アン・ティー
 国際交流員
 (ベトナム出身)



してもらいました。宮出しの前夜、家主の家族はもろろん、遠くに住む姉妹や親友もそろっていて、大家族の集まりは、まるでお正月のようでした。

雨の降る中、出発前の温かいお酒で体がぬくもり、心が躍りました。私は伊曾乃神社の真ん中にある「となりのトトロ」に出てくるような大きな木の下で、だんじりのお参りを見学しました。雨が降り続く中でもそれに負けないだんじりのパワーに感動しました。同僚が「今年は『雨降って地固まる』で、絆がより深まったようです」と話してくれました。

西条市は、しなやかで、華やかな街だと思います。弾むような音色と、楽しい人たちとのにぎわいを心待ちにして、私の心のカレンダーも新しくなりました。
 Fall in love with Saijo!!!